

# 環境にやさしい事業者の行動・配慮指針

## 1 自然環境の保全・創出のための行動・配慮指針

---

### (1) みどりの保全・創出と活用

#### ① みどりの保全

- 開発事業などの実施に際しては、周辺の自然環境を必要以上に壊すことのないように十分配慮するとともに、みどりの保全・創出を工夫しましょう。
- 民有斜面緑地など私有地のみどりの適正な維持管理に努めましょう。
- 「緑のよこすかチャリティークリック」や「みどりの基金」など、みどりのための財源確保に協力しましょう。
- 緑地協定の締結による緑地保全・緑化を進めましょう。
- 農地および生産緑地の適正な管理を心掛けましょう。

#### ② みどりの創出

- 「民有地緑化支援制度」などを活用し、所有地の道路面・駐車場や所有建築物の壁面・屋上を緑化しましょう。
- 【再掲】 開発事業などの実施に際しては、周辺の自然環境を必要以上に壊すことのないように十分配慮するとともに、みどりの保全・創出を工夫しましょう。
- 【再掲】 緑地協定の締結による緑地保全・緑化を進めましょう。

#### ③ みどりとのふれあいの推進

- CSR（企業の社会的責任）活動として、社員・家族参加型のレクリエーションを兼ねた環境保全活動などに取り組みましょう。
  - 環境関連団体などが実施する緑化運動等の地域の環境保全活動に協力・支援しましょう。
  - 建築や看板の設置に際しては、街の景観などを損なわないよう十分配慮しましょう。
- 

### (2) 水辺環境の保全・創出と活用

#### ① 河川環境の保全と創出

- 浄化槽は、定期的に清掃・保守点検・法定検査を受けましょう。
- 市民団体などの清掃美化活動に協力・支援しましょう。
- 事業の実施に伴い汚水の発生がある場合は、最新の排水処理技術の導入や排水処理施設の適正な管理などにより発生負荷量の抑制に努めましょう。

#### ② 海域環境の保全と創出

- 【再掲】 市民団体などの清掃美化活動に協力・支援しましょう。
- 【再掲】 建築や看板の設置に際しては、街の景観などを損なわないよう十分配慮しましょう。
- 【再掲】 浄化槽は、定期的に清掃・保守点検・法定検査を受けましょう。
- 【再掲】 事業の実施に伴い汚水の発生がある場合は、最新の排水処理技術の導入や排水処理施設の適正な管理などにより発生負荷量の抑制に努めましょう。

#### ③ 水とのふれあいの推進

- 市や環境関連団体などが実施する自然観察会や自然環境調査等に協力しましょう。
- 

### (3) 生物多様性の保全・再生と活用

#### ① 生物多様性の保全・再生

- 特定外来生物や有害鳥獣に関する正しい知識を身につけ、生態系に被害を及ぼさないようにしましょう。
- 地域固有の生態系を保全するため、本来その地域に生息しない動植物は持ち込まないようにしましょう。
- 【再掲】 開発事業などの実施に際しては、周辺の自然環境を必要以上に壊すことのないように十分配慮するとともに、みどりの保全・創出を工夫しましょう。

## ② 生物とのふれあいの推進

- 【再掲】市や環境関連団体などが実施する自然観察会や自然環境調査等へ参加や協力をしましょう。
- 【再掲】CSR（企業の社会的責任）活動として、社員・家族参加型のレクリエーションを兼ねた環境保全活動などに取り組みましょう。

## (4) 自然災害の防止と抑止

### ① 自然災害の未然防止

- 敷地内に雨水を地下に浸透させる雨水浸透施設等の設置を検討しましょう。
- 敷地内のみどりや土の面を確保し保水力を高めましょう。
- 【再掲】開発事業などの実施に際しては、周辺の自然環境を必要以上に壊すことのないように十分配慮するとともに、みどりの保全・創出を工夫しましょう。
- 【再掲】民有斜面緑地など私有地のみどりの適正な維持管理に努めましょう。

### ② 自然災害の被害の軽減

- 雨水貯留施設の設置や再生水の利用に努めましょう。
- 耐震補強工事の検討など、施設の災害防止対策を進めましょう。
- 災害時に備え、近隣や町内会等との協力体制の確認等を図りましょう。

## 2 生活環境の保全・改善のための行動・配慮指針

### (1) 生活環境の保全・改善

#### ① 大気環境の保全・改善

- 自動車を運転する際には、エコドライブ（アイドリングストップ、急発進・急加速の抑制、適切な点検・整備など）を心掛けましょう。
- 代替フロンの使用量削減を進め、やむを得ず使用する場合には、使用後の回収や再利用を徹底しましょう。
- 事業の実施に伴い発生する排煙は、最新の排煙処理技術の導入や排煙処理装置の適正な管理などにより環境負荷の低減に努めましょう。

#### ② 水・土壌環境の保全・改善

- 【再掲】浄化槽は、定期的に清掃・保守点検・法定検査を受けましょう。
- 【再掲】事業の実施に伴い汚水の発生がある場合は、最新の排水処理技術の導入や排水処理施設の適正な管理などにより発生負荷量の抑制に努めましょう。

#### ③ 化学物質対策の推進

- 有害化学物質の適正管理・適正処理を徹底し、周辺住民等の健全な生活環境の確保を図りましょう。

#### ④ 歴史的・文化的環境の保全と継承

- 歴史的文化遺産や伝統行事・伝統芸能について理解を深め、その保全などに協力しましょう。

#### ⑤ その他の生活環境の保全・改善

- 敷地内でのごみの焼却はやめましょう。
- 開発や事業などの実施に際しては、騒音などが生じないように心掛けましょう。
- 臭気を発生する施設は、密閉性の高い建屋内に設置するとともに、高効率の脱臭装置を設置しましょう。
- 敷地内の枝や雑草（空き地含む）は、隣接する施設や通行人などの迷惑にならないように、剪定や刈り取りを行いきちんと管理しましょう。
- 隣家への日照などに配慮し、建物を建築しましょう。

### 3 低炭素社会の構築のための行動・配慮指針

---

#### (1) 地球温暖化対策の推進

##### ① 温室効果ガスの削減および吸収源の増加

- リユース・リサイクルしやすい製品や再生資源を利用した製品を選択するグリーン購入を心掛けましょう。
- 【再掲】代替フロンの使用量削減を進め、やむを得ず使用する場合には、使用後の回収や再利用を徹底しましょう。
- 【再掲】「民有地緑化支援制度」などを活用し、所有地の道路面・駐車場や所有建築物の壁面・屋上を緑化しましょう。

##### ② 地球温暖化適応策の推進

- 夏は日差しを和らげ室内を涼しくする「緑のカーテン」を活用してみましょう。
- 雨水などを利用して、打ち水をしましょう。
- 【再掲】雨水貯留施設の設置や再生水の利用に努めましょう。
- 【再掲】敷地内のみどりや土の面を確保し保水力を高めましょう。
- 【再掲】敷地内に雨水を地下に浸透させる雨水浸透施設等の設置を検討しましょう。

##### ③ 都市交通に係る環境負荷の低減

- 電車やバスなどの公共交通機関や自転車の利用を心掛けましょう。
  - 自動車の買い替え時には、ハイブリッド車やEV(電気自動車)など環境負荷の少ない自動車を優先的に購入するよう心掛けましょう。
  - 地産地消を通じて、輸送に伴うエネルギー消費の削減に貢献しましょう。
  - 【再掲】自動車を運転する際には、エコドライブ(アイドリングストップ、急発進・急加速の抑制、適切な点検・整備など)を心掛けましょう。
- 

#### (2) エネルギー対策の推進

##### ① 省エネルギー対策の推進

- 不要な照明はこまめに消しましょう。
- 電化製品の不必要なつけっぱなしに気を付け、節電タップを利用するなど待機電力を減らしましょう。
- 照明器具や冷暖房機器などをこまめに掃除しましょう。
- エレベーターなどの利用を控え、できるだけ階段を利用しましょう。
- 冷暖房機器の使用にあたっては、適切な温度設定を心掛けましょう。
- 機材や設備の導入・更新に際しては、省エネルギー型や節水型を選択し、適正に使用しましょう。
- 省エネ法を遵守し、事業所のエネルギー使用量を把握しましょう。
- 機械の洗浄や洗車の際には、水の流しっぱなしに気を付けましょう。
- 業務時間の合理化を図りましょう。
- 通風性・自然光の有効活用に配慮した設計、断熱材や複層ガラス窓の導入など、省エネルギー性能の高い建築に努めましょう。
- 電力の見える化に役立つ「ワットモニター」や「省エネナビ」などを使用してみましょう。
- 温水洗浄便座は、温度を低めに設定し、使わないときはフタを閉めましょう。
- 【再掲】地産地消を通じて、輸送に伴うエネルギー消費の削減に貢献しましょう。

##### ② 再生可能エネルギーの利用

- 太陽光発電システムなどの導入を進めましょう。
-

## 4 資源循環型社会の形成のための行動・配慮指針

### (1) ごみの減量化・資源化、適正処理の推進

#### ① ごみの減量化の推進

- 両面印刷や使用済み用紙の裏面利用を心掛け、紙の節約に努めましょう。
- 長く使えて修理しやすい部品や製品の購入に努めましょう。また、製造業者は長持ちする製品づくりに努め、廃棄された後に環境への負荷が少ない製品の開発に努めましょう。

#### ② ごみの資源化の推進

- 分別回収を徹底し、リサイクルの推進に努めましょう。
- 【再掲】リユース・リサイクルしやすい製品や再生資源を利用した製品を選択するグリーン購入を心掛けましょう。

#### ③ ごみの適正処理の推進

- ごみを出すときは、正しく分別して出しましょう。
- 建築廃材の適正な処理に努めましょう。
- 【再掲】代替フロンの使用量削減を進め、やむを得ず使用する場合には、使用後の回収や再利用を徹底しましょう。
- 【再掲】敷地内でのごみの焼却はやめましょう。

## 5 市民、事業者、市の協働による

### 環境的側面、経済的側面、社会的側面の統合のための行動・配慮指針

#### (1) 環境教育・環境学習の推進

##### ① 環境教育・環境学習の推進のための体制づくり

- 社員が、事業活動のあらゆる場面において、環境への配慮ができるよう、環境の保全に関する研修を実施しましょう。
- 環境に関する専門的知識や経験を有する「環境教育指導者」の出前授業を受けてみましょう。

##### ② 環境教育・環境学習の機会の充実

- 市や環境関連団体などが主催する環境学習会などへ協力・支援しましょう。
- 【再掲】社員が、事業活動のあらゆる場面において、環境への配慮ができるよう、環境の保全に関する研修を実施しましょう。

#### (2) 経済・社会活動との調和

##### ① 環境と調和した経済活動の推進

- 開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入する「フェアトレード」を推進しましょう。
- 【再掲】地産地消を通じて、輸送に伴うエネルギー消費の削減に貢献しましょう。

##### ② 環境と調和した社会活動の推進

- ISO14001 やエコアクション21などの環境マネジメントシステムの認証取得など、環境保全のための体制づくりや仕組みづくりに取り組みましょう。
- 海外の環境問題の改善に協力するため、人材の派遣や研修の受け入れ等に努めましょう。
- 【再掲】CSR（企業の社会的責任）活動として、社員・家族参加型のレクリエーションを兼ねた環境保全活動などに取り組みましょう。
- 【再掲】環境関連団体などが実施する緑化運動等の地域の環境保全活動に協力・支援しましょう。
- 【再掲】開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入する「フェアトレード」を推進しましょう。